

安井 英章

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

恋文コンテストの再開を

質 恋文コンテストで全国に二ツ井町の名前が知られたが、十数年行われていない。合併後も恋文のまちをうたうのであれば、費用をかけない方法も検討の上、毎年ではなくとも行つべきではないか。

答 27年度からは、二ツ井公民館等を会場に、恋文コンテストを題材とした朗読公演シリーズ恋文を開催しているほか、第1回大賞作品の「天国のあなたへ」を初めとする入賞作品が、メディア等で取り上げられるなど、恋文のまちは一定の知名度を維持している。コンテストの再開は、財政面や人員的な課題があるが、今後検討していきたい。

農家の収入増のため太陽光発電の活用を

質 農地の有効利用を図るため、水田や畑等に太陽光発電を設置し、発電収入と農産物収入の両方を得るシステムがあり、井川町では既に行われている。県も実証試験を行うようだが、市も推進すべきでは。

答 国は農業所得の安定化のため、営農型太陽光発電の促進策を推進している。県も今年度から中山間地において、営農型太陽光発電の実証事業を実施している。実施の検討には事業採算性の検証や、農家の意向の把握等にまだ相当の期間を要するため、市としては、国、県の取り組みや先行事例の動向を注視していきたい。

その他の質問事項

- 明治天皇記念碑前の駐車スペースの改善
- プラスチックごみの対策を
- スクールロイヤーは検討しているか

渡邊 正人

平政・公明党

地域活性化につながる能代港の整備

質 能代港の利活用促進について、期成同盟会の発足と能代港の整備促進等、今後の具体的な取り組み、地域活性化につながるための今後のスケジュールを含め、その考えは。

答 能代港の利活用促進は、県北地域の活性化のために重要。洋上風力発電拠点化の形成は、そのための一つの方策であり、国、県の方向に沿い、洋上風力発電が本地域で先進的に計画されていること、位置的優位性があることから、港湾整備促進に向けた条件が整っている。同盟会で要望活動や広報活動を実施するなど、地域活性化に向け、全力で取り組む。

小・中学校の熱中症対策(エアコン設置)

質 児童生徒の安全を守るため、既存の保健室だけでなく、児童生徒や夏休みも出勤している教職員のため、できるだけ速やかに教室や職員室へエアコンを設置する考えは。

答 教職員の勤務環境改善のため、職員室へのエアコン設置が必要と考えるが、今年の記録的な猛暑を踏まえ、児童生徒の安全、健康を守るため、教室への設置も検討していく。しかし、設置には多額の費用が必要で、財源の確保が課題となる。国では交付金の増額に加え、そのあり方等について検討を進めているため、今後の国の動きを注視していきたい。

その他の質問事項

- 児童生徒の通学路等における安全確保
- 教育連携の現状と今後の方針

佐藤 智一

希望

ため池周辺の通学路や避難経路の安全確保

質 西日本豪雨では、下流域に被害が想定される防災重点ため池ではない、ため池が決壊し、子供が亡くなった。ため池周辺における通学路及び避難経路の安全確保についてどう考えているか。

答 防災重点ため池については、県のため池ハザードマップと市の津波ハザードマップ及び洪水・土砂災害ハザードマップそれぞれの浸水想定区域、避難経路、避難場所の整合性等を精査し、通学路も含め総合的な安全確保に努めていく。それ以外のため池でハザードマップがない所については、周辺住民にため池の存在を周知し注意喚起を図っていく。

水道法改正による影響

質 国会で審議中の水道法改正案は、広域連携や官民連携の推進等を網羅している。人口減に伴う必要の減少、水道施設の老朽化等、課題は多いが、広域連携や公共施設等運営権に対する認識は。

答 広域連携は、事業体間の考え方の違いや、地理的な要因等が課題となり、具体的な検討には至っていない。まずは市内の簡易水道事業と上水道事業の経営統合を図りながら、効率的な経営を目指したい。公共施設等運営権に対する認識は、契約により個別に定められた範囲で維持管理や運営を民間事業者に任せる方式の導入について、慎重な検討が必要と考えている。

その他の質問事項

- 西日本豪雨を受けたため池の点検の状況は
- 民地ブロック塀の撤去費用補助の考えは
- ブロック塀の木質化を推進する考えは